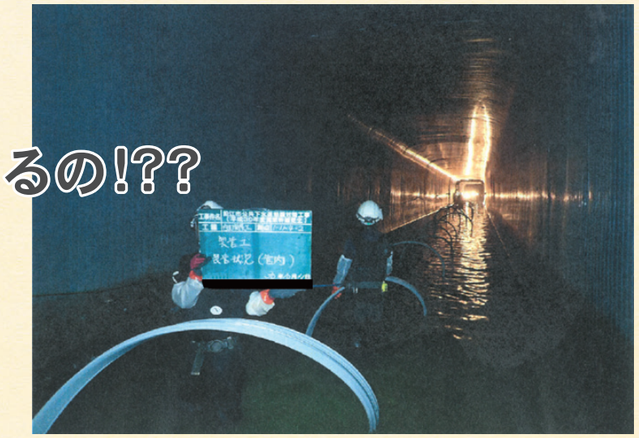
街なかの下水道@こまえ

「下水道耐震化工事」編

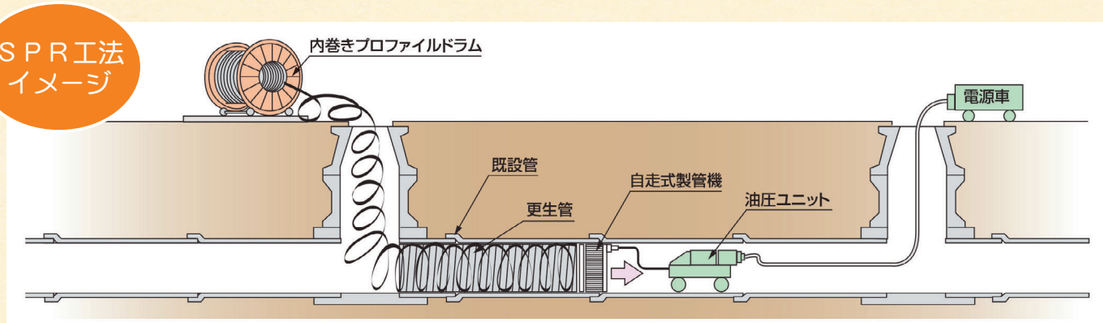
Q.1 これは、なにをしているの!??



A.1

市内下水道管の耐震化工事の様子です。
下水道管内のコンクリートの壁にプラスチックの帯（プロファイル）を巻きつけて下水道管を更生（耐震化）する工事（ＳＰＲ工法）です。
主に３つの特徴があります。
①道路を掘り起こすことなく施工ができるので、廃棄物や二酸化炭素を極力出さず、環境に優しい工事です。
②下水を流しながら施工が可能です。
③耐食性に優れ、耐震化や強度の確保ができます（阪神淡路大震災レベルの地震に対処できる強度です）。
また、ＳＰＲのＳはSewage（下水）、ＰはPipe（管）、ＲはRenewal（再生）の頭文字をとったものです。

ＳＰＲ工法イメージ

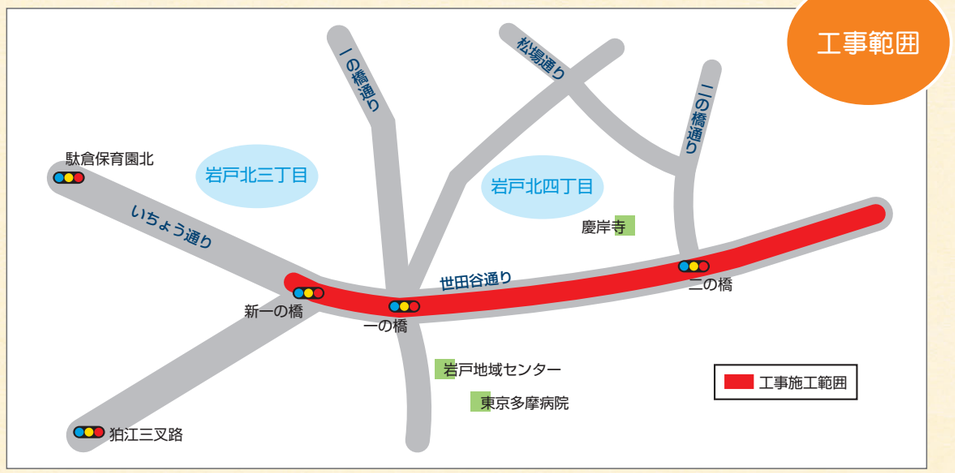


ヒント！ 老朽化した下水道管に必要なこと

狛江市の下水道管は、いちばん古いもので昭和44年につくられています。なんと50年近くも皆さんの生活を支えているため、修理やメンテナンスをしなくてはなりません。もし大きな地震が起きても壊れないように、今から準備する必要があります。

Q.2 どこを工事したの…!??

A.2

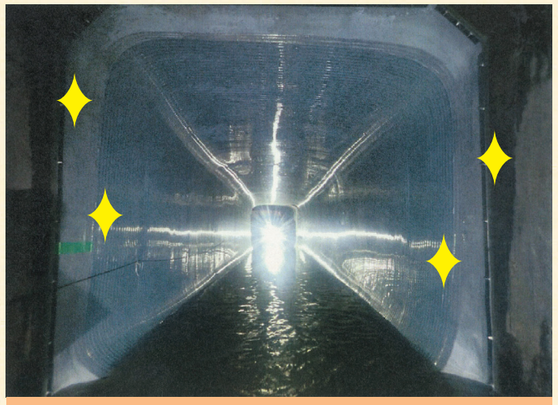


二酸化炭素削減にも役立っているんだね！これからも下水道管の耐震化工事を進めていくよ！

世田谷通りの新一の橋交差点から世田谷区境までの間に埋設されている下水道管（覚東幹線）を耐震化するため、ＳＰＲ工法で平成27年度から４年かけて工事を行いました。
工事した覚東幹線は約570ｍになります。
覚東幹線は狛江市の約３分の２の下水が流れてくる非常に重要で大きな下水道管です。
その大きさは、たてよこ約４ｍもあります。

工事前

昭和46（1971）年度に埋設した管内です。



工事後

下水道管内はツルツルで流れもよくなります。

マンホールカードの配布場所・時間が増えました！

平日：市役所５階　下水道課窓口、土日：中央公民館窓口（市役所敷地内）
祝日・年末年始：市役所１階　宿日直室　窓口
※配布時間：午前９時から午後５時まで

問い合わせ先　環境部下水道課　☎03－3430－1358